

【第2回 学校運営委員会報告】

1 開催日時 令和6年5月14日（火）18:30～19:30

出席者：佐々木浩、小泉玲子、菅野義英、川田英明、

清家政巳、川村陽子、松本順子、大角恵里、

小泉一弘

事務局：長田尚子、木村知子

2 議事録

（1）学校運営委員長挨拶

学校だより5月号での6年生の活躍を読みました。校長が子どもたちに対して細やかな目を向けているのが分かります。温かい学校運営を、引き続き側面から支えていきたいです。

（2）校長より

① 学校行事等について ※資料より

- ・1年生を迎える会を5年ぶりに体育館で行いました。上学年が1年生を楽しませる姿が見られる温かい会となりました。本校の子どもたちのよさが発揮されました。
- ・5月1日（水）、授業改善に向けた基盤づくりとして、校内研究全体会を行いました。これは本校ならではの取組です。どの学校でも研究授業というものがあり、年間3回程度、本校は7回と数多く実施していますが、学校経営方針にも明記している、「『誰一人置き去りにしない』探究的な学び」、そしてインクルーシブ教育の推進に向けて、自閉症・情緒障害「ひだまり学級」と特別支援教室「すまいるルーム」の教員8名が講師役を務め、子どもたち全員を学びの場に乗せるための研修を行いました。今回で3回目となり、着実にその成果も表れています。
- ・5月2日（木）離任式を体育館で実施しました。行政系の職員については3月下旬の異動発表のため、現在の状況から考えると、次年度も同様の計画となりそうです。
- ・消防写生会は、残念ながら雨となりました。各学年で工夫して取り組みました。
- ・PTA校内ミステリーツアーには、約60名の保護者が参加しました。学校の施設見学と保護者との対話の場を設けました。プールと空中庭園の見学が好評でした。
- ・引き取り訓練は、本校の規模から考えると、比較的スムーズに進行しました。混乱は少なく、保護者の協力が有難かったです。

② 今後の予定（6月末まで）

5／17（金）3年生遠足（こどもの国） 22（水）～24（金）5年生川場移動教室

28（火）4年生遠足（井の頭公園） 29（水）校内研究授業①（2年生特別活動）

31（金）4年生美術鑑賞教室

6／ 5（水）～7（金）学校公開〔7（金）は、道徳授業地区公開講座〕

8（土）学校運営委員会（9：30～、授業視察中心）

18（火）～20（木）体力テスト

24（月）水泳指導始 読書週間始 6年生古典芸能鑑賞教室

26（水）第1回世小P常任理事会（本年度、2ブロック常任理事校）

27（木）3年生自転車安全教室第1回学校協議会

- ・道徳授業地区公開講座、学校協議会、ぜひご参加をお願いいたします！

③ その他

年度当初の児童・教職員の状況について

(3) 意見交換（一部抜粋）

菅野：働く消防写生会が雨で校内での写生会となったのは残念でした。川場移動教室もあるので、子どもも先生方も体調を崩さないように気を付けてほしいです。

川村：学校サポーターとして1年生の様子を見ていると、子どもたちに指示が通りづらい現状が見受けられます。子どもたち全体に対して、伝わりやすい指示が出せるように心掛けて欲しいです。

大角：個人面談に夫婦で参加しました。時間が15分あり、じっくりと先生と対話できるのが良かったです。体育の集団行動が、いざというときに子どもの生命を守ることにつながるという価値について保護者会などで聞かせてほしいです。親の意識も変えていく必要があると思いました。

松本：学校経営方針の「誰にでも居場所のある」学校には、校内研究でも紹介された子どもたちを誰1人置き去りにしないという背景があると知ることができました。PTAの校内ミステリーツアーを通して、保護者から「校長先生の人となりや豊富な経験知識で学校が支えられていると感じられました。」との声がありました。6月に行われる学校協議会は、先生方と情報共有できる場とのことで、多聞小学校の全ての先生の人となりを知る場となると思いました。

清家：昨年の今頃には、1年生の姿が幼く見えましたが、今の2年生の姿を見ると、1年間でこんなに成長したんだと感じました。今の1年生も、また1年経てば成長するでしょう。子どもたちの成長は早いです。先生方は一生懸命教えてくれています。

川田：コロナ禍で人と人の間で育成されるべき資質が不十分であった現在の社会状況を踏まえた上で、今の1年生の幼さを、もうちょっと長い目で見て成長を見守りたいと考えています。雨天であった働く消防写生会は残念でしたが、校内に飾られる絵を楽しみにしています。

小泉：新1年生の保護者のみなさんに、PTA活動に積極的に参加してもらうことで、多聞小学校の教育活動を理解してもらえると感じました。都道26号線の淡島通りとの交差点等、車や自転車との接触の危険がある箇所について、現在、都や警察に相談しています。引き続き安全面について行政にも働きかけていきます。

佐々木：アフターコロナの行事等、正常運転に戻ったことにより付隨的に生じる課題に対して、学校が的確に対処している姿が伝わってきました。子どもたち一人一人をちゃんと見ているなど感じます。いろいろな道程で子どもは育っていくので、個々の成長の幅を見ていく必要があります。徹底させたいことに関しては、一斉指導は全体に指示を通すためには効果的で、子どもにも効果があるとされています。これからも学校の教育活動に対し、学校運営委員のみなさんがそれぞれの立場で多角的に意見を出し合い、学校を支えていきたいです。よろしくお願ひいたします。